



令和 4 年 度

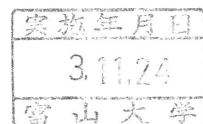
経 済 学 部

学 校 推 薦 型 選 抜

小 論 文

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまで、この問題冊子を開かないこと。
- 2 この問題冊子は、全部で5ページ、解答用紙は2枚、下書き用紙は2枚である。  
試験開始の合図があってから確認すること。  
なお、試験問題に文字などの印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の  
汚れなどがあつた場合は、手を挙げて監督者に知らせること。
- 3 試験開始後に、解答用紙の指定欄に受験番号を記入すること。  
氏名を書いてはいけない。
- 4 解答は、指定された解答用紙に記入すること。  
指定された解答用紙以外に記入した解答は、評価（採点）の対象としない。
- 5 配付された問題冊子および下書き用紙は、試験終了後、持ち帰ること。





【問題1】次の文章を読んで、[設問1]から[設問3]に答えなさい。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

私たちの社会では、人々のあいだの規範は、ときどき破られたりすることはあるものの、明確に存在し、機能しています。これは一見するとごく当たり前のことのように思えますが、どのような条件で規範がうまく働くのか、そのロジックを改めて注意深く考えてみましょう。いささか複雑な議論ですが、お付き合いください。

規範がなぜ成立するのかについての一つの説明の仕方としては、「規範の存在が社会の存続にとって役に立っているから」という言い方があります。社会規範はヒトという種の存続にとって適応的だから存在する、と言い換えることも可能です。このタイプの説明は、社会学などで機能主義 (functionalism) と呼ばれます。ごく単純化して言えば、社会の中にある制度や構造は当の社会の安定や存続にとって機能を果たしている、だから存在する、と考える議論です。しかし、①よく考えてみると、この議論には少し変なところがあると思いませんか？

革命や騒乱など激動の時代だった二〇世紀の初頭に、暴動や群衆行動などの集団現象を説明するため、「集合心」、「集団心」などの概念が提唱されたことがあります。人間の集合行動において、ふだんの個人の行動からはとても考えられない過激な社会現象が生まれることを説明するために、個人を超えた、マクロレベル (群集レベル) で働く「心」の存在が仮定されたわけです。人々は集合心に支配され、個人の独立性を失い盲目的に突き動かされている、といったイメージです。

このように、集団や社会のレベルのマクロな現象 (規範もその一つです) を説明する際に、マクロな単位 (集団、社会) をそのまま説明の単位に用いるのは、私たち自身、日常場面でよく行う説明の仕方です。たとえば、「学校がいじめを生み出した」「海外展開は組織の意思だ」などの表現を私たちはよく使います。社会科学においても、「グループは、自らのメカニズムに依拠して自己の構造を変化させる、自己組織的なシステムである」などの表現が見られます。

組織が意思をもつ、群集が心をもつといった言説は、マクロな社会現象 (たとえば、集団ヒステリーなど) を記述するための喩えやレトリックには適しているかもしれませんが、それを「説明」するための科学的概念としては不十分だと考えざるを得ないようです。

その理由は、ハチやアリなどの社会性昆虫と違って、ヒトの集団や社会は、少なくとも個人と同じ程度には、それ自体のまとまりや持続的な意思をもち得ないからです (たとえば、学校は、行為者としてまとまった「一つの意思」をもち、いじめを生み出せるでしょうか?)。ヒトの集団や社会は、進化的に考えて、一枚岩の存在ではあり得ません。個人もたくさんの細胞から構成されていますが、集団や社会に比べればはるかに一枚岩のシステムです。社会心理学者オルポートは、この意味で、集団心や集合心などの概念を強く批判しました。オルポートは、集団心・集合心などの概念は、「集団を一つのまとまりや心をもつ実体と捉えた、誤った概念設定である」と批判し、そうした論理的誤りの



ことを集団錯誤 (group fallacy) と名付けています。

同じように、もし社会規範についての説明が、「ヒトの社会が、自らの存続に役に立つ社会規範を維持している」ことを少しでも意味するなら、それはヒト社会を主体・実体として見る集団錯誤の議論になります。個体が規範に従うかどうかの意思決定はできても、社会が「行為主体として自ら」規範を維持したり破棄したりすることはできないからです。人々が規範に従うかどうかは、社会が決めるのではなく、各人の意思決定の問題なのです。

では各人にどうやって規範を守らせたらよいのでしょうか。第一に社会教育によって規範を個人に浸透させること、そのうえで警察や法などの有効な制裁装置を作り出すことが考えられるでしょう。社会教育はもちろん重要で有効な方法ですが、<sup>おきて</sup>掟破りが生まれてくるのを完全に防ぐことはできません。とすると、どうしても社会的な制裁 (sanction) 装置を欠かすことはできません。

それでは、制裁装置をどうやって維持すればよいのでしょうか。たとえば、村の共有地に抜け駆けをして過剰放牧をした<sup>おきて</sup>掟破りに特別の罰を与える、先ほどのやり方を考えてみましょう。この制裁方法は一見するとうまくいきそうに思えます。しかし、ここでの問題は、抜け駆けをした者にわざわざ罰を与えるのには、自分にコストがかかる点です。たとえば、個人で罰を与えようと試み、<sup>おきて</sup>掟破りに返り討ちされる可能性を考えてみてください。ならば抜け駆けをした者に怒りは覚えても、自分は罰を与える労をとらず、誰か他の人が罰を与えるのを待つことにならないでしょうか。② <sup>おきて</sup>掟破りに罰を与えるか、与えない (見て見ぬふりをする) かの選択についても、共有地にたくさん放牧するか、控え目にするかというそもそもの選択と、構造的にまったく同じ社会的ジレンマ<sup>(注)</sup>が存在することになります。

一方、自警団や警察に取り締まってもらえばよいとする議論に対しては、それを維持するコストを払うか、払わないかをめぐる同型のジレンマが存在します。さらに「見て見ぬふりをする村人を個人的に罰する」というもう一段上の解決策も考えられますが、罰を与えることにはやはり同じようにコストがかかります。

こう考えると、どこまでさかのぼってもジレンマから簡単に抜け出せないことは明らかです。こうした無限にさかのぼる「高次のジレンマ問題」を世界で最初に実験で取り上げたのは、北海道大学の山岸俊男教授でした。この根本的な問題は、モノやサービスに対してコストを支払わずその利益だけを享受する、ただ乗り問題 (free-rider problem) と呼ばれ、社会的なシステムをどのように設計するかを考えるうえで重要な鍵を握ります。

結局、特別の罰を与える方法があっても、経済的合理性の観点から誰もそのコストを引き受けようとしなければ、事実上、「社会的に罰は存在しない」と同じになります。もし、人間が個人利益の最大化を図ることを前提にするのであれば、「誰も罰しない」ことを冷徹に読み切った村のずる賢い<sup>おきて</sup>掟破りは、堂々と<sup>おきて</sup>掟破りを破り、ただ乗りを続けるはずですが。しかし、③ 実際の私たちの社会



では、制裁は機能し、規範は維持されているように思えます。いったい、これはなぜなのでしょう。

注：社会的ジレンマとは個人の利益と社会全体の利益が一致しないことを意味する。たとえば、村の掟破りに罰を与える行為には、社会的には村の規範が維持されるという利益がある一方、個人的には返り討ちにされるかもしれないという不利益がある、という社会的ジレンマが存在する。

出典：亀田達也『モラルの起源—実験社会科学からの問い』（岩波新書，2017年）61-66頁（問題作成において，文章・見出し・図を一部省略・修正・加筆した）。

[設問1] 下線部①に関して，規範の成立に関する機能主義の議論がなぜ変なのか，文中の語句を用いて70字以内で説明しなさい。

[設問2] 下線部②に関して，「共有地にたくさん放牧するか，控え目にするか」というそもそもの選択」について文中では明確には説明されていないが，この選択における社会的ジレンマがどのようなものか，注および問題文の内容を参考に類推し、述べなさい（90字以内）。

[設問3] 下線部③に関して，現在，新型コロナウイルスの感染が深刻化する中，私たちは外食の自粛や外出時のマスクの着用を求められている。このような状況におけるただ乗り問題を説明した上で，これらの「規範」が一定程度守られているのはなぜか，問題文の内容を参考にあなたの考えを300字以内で述べなさい。



【問題2】 次の文章を読んで, [設問1] から [設問5] に答えなさい。解答はすべて解答用紙に記入しなさい。

## 著作物引用箇所のため非公表



出典:Ian Marcouse, et al.(2014), *The Business Book: Big Ideas Simply Explained*, (Kindle版), DK(Dorling Kindersley Limited), pp.313-314  
より抜粋。

[設問1] 二重下線部①のthisが何を指しているかを、本文中の表現を用いて日本語で説明しなさい。

[設問2] ( A )に入る最も適切な単語を、以下の4つの中から1つ選択し、番号で答えなさい。

1. and      2. but      3. that      4. then

[設問3] ( B )の中に入る適切な文章を、以下の10個の単語を並び替えて完成させなさい。ただし、動詞の語形変化が必要な場合、適切に直しなさい。

be      can      failure      find      is      it      only      success      that  
through

[設問4] 下線部②を日本語に訳しなさい。

[設問5] 本文中で取り上げられているCoca-Cola社とTesco社の事例からどういふことが言えると考えられるか、日本語で60字以内で述べなさい。







見本

下書き用紙

見本

下書き用紙